

私の授業～うまくいったこと、いかなかったこと

所属	法学部	氏名	鶴貝 達政
テーマ	学生から学ぶこと		
<p>私は、共通科目であるコンピューターテラシー関連科目と学科基礎科目である情報処理科目を担当しています。経済学部と法学部消費情報環境法学科を除くすべての学科の選択必修科目であるコンピューターテラシー関連科目は、Windows の基本操作方法と文章作成のワード演習を行うコンピューターテラシー1、表計算のエクセル演習を行うコンピューターテラシー2、プログラムの基本的な仕組みを学ぶコンピューターテラシー研究1A・1Bで構成されています。この中からコンピューターテラシー研究1Aを取り上げて「私の授業」についての説明をすることにいたします。</p> <p>コンピュータを使用して仕事をする、問題を解決するためにはアプリケーションプログラムが必要です。例えば、ワードやエクセルは代表的なアプリケーションプログラムです。ワードやエクセルが使用できるようになってもそのすべての機能を習得することは難しいことです。新しい問題に直面し、その解答を探るためにはアプリケーションプログラムでは何ができて、何ができないのかを知ることが重要なのです。そのためにプログラムの基本的な仕組みを学ぶ過程が大切になります。プログラミングを学んだ経験がないとプログラムを作成することは難しいと考えるかもしれませんが、プログラムの基本的な仕組みはたったの5つから構成されており、プログラミングの醍醐味はその5つの基本的な仕組みを繋げていき、複雑な仕事をするプログラムを作成することにあります。</p> <p>1994年に明治学院大学に就職して、1年目の講義で私は学生から色々なことを学びました。1年目の講義には講義の準備にも時間がかかりますが、本番の講義でも予期しない事態が生じ、いくつもの大変な思いを経験しました。その中で私は学生から学んだ1番のことは学生にレポートの課題の説明をしたときのことでした。そのときある学生は、「先生、これはできませんよ。ぼくたちは、講義の間、先生のいう通りに操作していただけなので」と私に、正直に、言ってくれたのです。初年度にこのような学生に出会ったことは、ある意味、幸運だったと思います。次年度からは、90分の講義の中で60分を説明し、残りの30分は学生に自ら課題を作成する形式に変更し、現在に至ります。</p>			